

2023年5月15日

各位

会社名 夢 展 望 株 式 会 社
 代表者名 代表取締役社長 堀 孝 子
 (コード：3185 東証グロース市場)
 問合せ先 管 理 本 部 長 今 井 隆 一
 (TEL. 072-761-9293)

減損損失の計上及び個別業績の前期実績値との差異に関するお知らせ

当社は、2023年3月期の連結決算（国際財務報告基準、以下「IFRS」といいます。）において減損損失の計上を行うことといたしました。また、2023年3月期の通期個別業績と前期実績値との差異が生じる見込みとなりましたのでお知らせいたします。

1. 減損損失の内容

(1) 連結決算（IFRS）における減損損失の計上について

当社は、IFRSに基づく減損テストを実施し、足許の事業環境及び今後の業績見通し等を勘案した結果、連結子会社であるナラカミーチェジャパン株式会社における青山本店の使用権資産の減損損失44百万円を特別損失に計上することといたしました。

2. 2023年3月期個別業績と実績値との差異（2022年4月1日～2023年3月31日）

	売 上 高	経 常 利 益	当 期 純 利 益	1 株 当 たり 当 期 純 利 益
前 期 実 績 (A)	1,808百万円	△130百万円	△145百万円	△10円68銭
当 期 実 績 (B)	1,648百万円	△25百万円	△24百万円	△1円71銭
増 減 額 (B - A)	△160百万円	105百万円	121百万円	—
増 減 率 (%)	△8.8%	—	—	—

※本記載の当期実績は、この開示時点において、金融商品取引法に基づく財務諸表の監査手続きが実施中です。

※本記載数値情報は、表示単位未満の端数切捨て、増減率の小数点以下第2位切捨て小数点第1位まで記載しております。

3. 差異の理由

(1) 個別業績

個別業績におきましては、いつまでも暖かい9月により秋冬物商戦の入口で苦戦、11月には中国本土のゼロコロナ政策緩和により工場のみならず検品所や物流に至るまで感染が広がり、新規ブランドの立ち上げ時期も遅れるなど、厳しい環境にさらされました。しかしながら、前期より引き続き、販売価格の見直しやキャリア品の計画的消化、仕入の適正化などを進め、収益構造の改善を徹底し続けた結果、店舗別売上比率の見直しなどにより減収とはなりましたが、損益については通期で営業黒字を計上

し、また、経常損失、当期純損失共に前期比改善することが出来ました。それらの要因により、上表 2. のとおり、売上高は前期実績を下回りましたが、経常利益及び当期純利益が前期実績を上回る結果となりました。

以 上